

## 目 次

### I. 総括研究報告

患者安全を支援するための法制度の構築を目指した比較研究：法による医療安全対策の  
支援・阻害機能の再検討

----- 1

岩田 太

### II. 分担研究報告

#### 1. イギリスにおける新たな医療事故調査制度

----- 15

我妻 学

#### 2. イングランド患者安全事象報告学習制度の新たな展開－NRLSから新システムへ－

----- 26

織田 有基子

#### 3. 英国における医療の調査について－インプラントによる豊胸術について－

----- 40

佐藤 雄一郎

#### 4. 化粧石けんによるアレルギー発症と原材料の欠陥の判断に関する判例検討

----- 54

畑中 綾子

#### 5. 論文紹介 医療過誤の後に医師が進んで患者や家族(遺族)に謝罪することを推進する法律がアメリカでは多数制定されたが、その効果について、データをもとに検証し、謝罪の推進だけでは医療過誤訴訟の抑制につながらないとする論文

*Benjamin J. McMichael, R. Lawrence Van Horn, and W. Kip Viscusi, "Sorry" Is Never Enough: How State Apology Laws Fail to Reduce Medical Malpractice Liability Risk, 71 STAN.L. REV. 341 (2019)*

----- 62

樋口 範雄

#### 6. 謝罪のセミナーの開発と評価

----- 68

佐藤 恵子

#### 7. 医療安全に関する仮設問題

----- 79

樋口 範雄

#### 8. 医療と利益相反・・・アメリカの連邦サンシャイン法で何が変わったか？

----- 82

小山田 朋子

### III. 研究成果の刊行に関する一覧表

----- 96